

みずほCustomer Desk Report 2023/11/06号 (As of 2023/11/03)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	150.50	1.0616	159.70	1.2192	0.6429
SYD-NY High	150.51	1.0746	160.38	1.2389	0.6518
SYD-NY Low	149.18	1.0616	159.70	1.2185	0.6420
NY 5:00 PM	149.37	1.0730	160.32	1.2380	0.6513
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,061.32	222.24	日本2年債	-	-
NASDAQ	13,478.28	184.09	日本10年債	-	-
S&P	4,358.34	40.56	米国2年債	4.8428%	▲0.1518%
日経平均	-	-	米国5年債	4.5062%	▲0.1340%
TOPIX	-	-	米国10年債	4.5755%	▲0.0846%
ソコ日経先物	32,750.00	420.00	独10年債	2.6370%	▲0.0705%
ロンドンFT	7,417.73	▲28.80	英10年債	4.2825%	▲0.0985%
DAX	15,189.25	45.65	豪10年債	4.7380%	▲0.0590%
ハンセン指数	17,664.12	433.53	USDJPY 1M Vol	7.16%	▲0.40%
上海総合	3,030.80	21.39	USDJPY 3M Vol	8.70%	▲0.21%
NY金	1,999.20	5.70	USDJPY 6M Vol	9.09%	▲0.13%
WTI	80.51	▲1.95	USDJPY 1M 25RR	▲0.56%	Yen Call Over
CRB指数	281.77	▲0.48	EURJPY 3M Vol	8.63%	▲0.29%
ドルインデックス	105.02	▲1.10	EURJPY 6M Vol	9.06%	▲0.29%

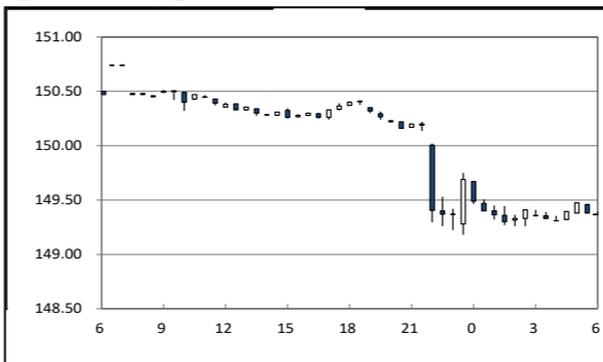
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
11月3日	10:45	中	Caixin中国PMIコンポジット	10月	50.0	-
	10:45	中	Caixin中国PMIサービス業	10月	50.4	51.0
	16:45	仏	鉱工業生産(前月比/前年比)	9月	-0.5%/-0.1%	0%/0%
	16:45	仏	製造業生産(前月比/前年比)	9月	-0.4%/-0.9%	0.1%/-
	18:30	英	サービス業PMI・確報	10月	49.5	49.2
	18:30	英	コンポジットPMI・確報	10月	48.7	48.6
	19:00	欧	失業率	9月	6.5%	6.4%
	21:30	米	非農業部門雇用者数変化	10月	150k	180k
	21:30	米	失業率	10月	3.9%	3.8%
	21:30	米	平均時給(前月比/前年比)	10月	0.2%/4.1%	0.3%/4.0%
	22:45	米	サービス業PMI・確報	10月	50.6	50.9
	22:45	米	コンポジットPMI・確報	10月	50.7	-
	23:00	米	ISM非製造業景況指数	10月	51.8	53.0

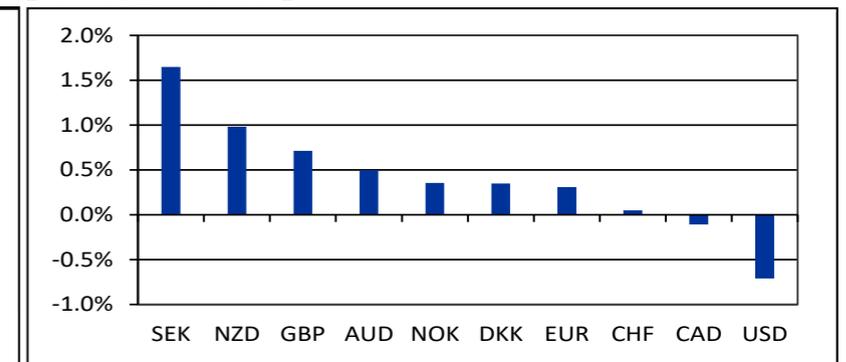
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
11月6日	13:10	日	植田日銀総裁 会見	-	-	-
	16:00	独	製造業受注(前月比)	9月	-1.5%	3.9%
	17:55	独	サービス業PMI・確報	10月	48.0	48.0
	17:55	独	コンポジットPMI・確報	10月	45.8	45.8
	18:00	欧	サービス業PMI・確報	10月	47.8	47.8
	18:00	欧	コンポジットPMI・確報	10月	46.5	46.5

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	149.20-150.00	1.0650-1.0800	159.50-161.00

【マーケット・インプレッション】

木曜日のドル円は、前日の米金利低下を背景にアジア時間から円高が進み、150円台半ばまで下落。金曜日のドル円は、米10月雇用統計が雇用の伸び鈍化と賃金圧力緩和の兆候を示唆したことで米国の利上げ終了期待が強まり米金利低下、ドル安となり149.36でクローズ。本日のドル円は上値が重い展開が継続か。金曜日の米10月雇用統計が弱含んだことでドル安が進んだことに加え、先週水曜日神田財務官からは「スタンバイ」と昨年一回目の為替介入および一週間前と同じ文言が聞かれたことから介入への警戒感が燃っており、一方的な円売り展開にはなりにくいと思われる。

東京	東京時間のドル円は150.50レベルでオープン。東京休日で参加者も限定的となる中、前日からの流れを引き継ぎドル売りが優勢。終日軟調推移が続き、150.28レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、150.28レベルでオープン。午後に米雇用統計を控える中で全般に動意なく推移。150.20レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は150円台半ばでスタート。注目の米10月雇用統計の結果発表が控えられる中、様子見姿勢が広がり、150.30付近での小動きが続き、150.20レベルでNYオープン。朝方に発表された米10月非農業部門雇用者数の変化が予想を下回り、平均時給も予想より鈍化し、失業率も予想より悪化している内容を受け、米労働市場の減速の思惑から、ドル売りで反応し、149.35まで下落。続いて発表された米10月ISM非製造業景況指数のヘッドラインが予想を下回り、発表直後は再び売りが優勢となり、149.18まで続落。その後構成項目の仕入価格と新規注文は予想を上回っており、149.75まで買い戻される。しかし、買戻しは長く続かず、再び149.30近辺まで反落。午後は一連の中銀イベントを消化し、149.40を中心とした動意乏しい推移が続き、結局149.37レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.06台前半でスタート。特段手がかり材料は見当たらなかったが1.0630近辺での値動きが続き、1.0647レベルでNYオープン。朝方は先述の弱い米雇用統計の内容を受け、ドル売りが優勢の中、1.0720まで続伸。その後も米金利低下や、欧州株高がサポートとなり、1.0746まで続伸。午後は週末を控え、積極的な取引が手控えられるも、高値圏での推移が続き、1.0730レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 岩下・南野